

JR西日本 125系 小浜線運転席展望

東舞鶴 ⇒ 敦賀 4K 撮影作品*

ANRS-72399B / 本編 118分 5,500円 (税込)
 ANRS-72398 / 本編 118分 4,950円 (税込)

■ 撮影日 / 2024年4月10日 (水) 晴 933M
 ■ 区間 / 東舞鶴 (13:38 発) ⇒ 敦賀 (15:33 着) 125系 ワンマン



■ JR西日本商品化許諾済

■ 本編の概要 ■

高架駅の東舞鶴を発車し、次の松尾寺はかつて貨物取扱駅であったが、今や棒線化され広い構内も草に覆われて虚しい。吉坂トンネルを抜け、福井県に入り若狭高浜から小浜にかけては所々で若狭湾(日本海)を望んで走れる。小浜からは内陸部に入り、田園地帯や小さな街並を見ながら走る。気山を出ると、三方五湖の一つである久々子湖を垣間みて、美浜からは山間部になり峠もあるが、電車は難なく軽やかに越えて行く。右から北陸本線が近づき、かつてはEF81形などが待機していた機関区を見て、北陸新幹線延伸により、一大ターミナルに変貌した敦賀に到着する。

◆ 展望本編の主なキャプチャ画像 ◆

*本編は4K30P規格での撮影のため、車窓の一部に残像を感じる場合があります。



東舞鶴を発車。高架駅だが島式ホーム1面のみで、こぢんまりしている。



かつて貨物取扱駅だった松尾寺。棒線化され草生した広い構内が侘しい。



京都府と福井県との境になる、吉坂トンネルに入る。
(松尾寺～青郷)



若狭本郷の駅舎は、花博*で展示されたい「風車の駅」を移築したものである。*国際花と緑の博覧会 (1990年開催)



25km/h制限の徐行区間を走る。若狭湾をじっくりと眺めることができる。(若狭本郷～加斗)



加斗から小浜にかけては、線路が最も海に近づく区間である。
(勢浜～小浜)



小浜に到着。SL時代に使用されていた給水塔が残っている。



1面1線の東小浜だが、この近くに北陸新幹線の駅を設置する計画がある。



水が張られ、田植え間近の長閑な田園地帯を走る。(新平野～上中)



十村で上り列車と交換。小浜線で定期運用されているのは125系のみだ。



三方は棒線化で使用されなくなったホーム上には満開の桜が咲く。



わずかな区間だが、三方五湖の一つである久々子湖を左側に望める。
(気山～美浜)



咲き誇る桜を尻目に、樺峠越えの勾配区間を駆け上がって行く。
(美浜～東美浜)



東美浜を出ると、再び峠(関峠)越えとなり山深い区間が続く。
(東美浜～栗野)



北陸本線と並走しながら、終着の敦賀へ向う。かつてEF81がいた機関区も今や昔…



敦賀に到着。新たに新幹線ホームもでき、一大ターミナル駅へと変貌した。

■ 撮影時の気象条件や機材との関係により、明暗のバランスの乱れがある区間があります。また、列車の進行方向によって、逆光による反射光で正面ガラスへの写り込み、汚れ等で展望が見づらいと感じる区間もありますが、あらかじめご了承ください。

■ キャプチャー画像は、お手持ちのパソコンやテレビ等の環境により、実際の映像より色味が違って見える場合がございます。